

みなみぶらの
特定中山間保全整備事業「南富良野区域」
効率的整備手法検討第三者委員会（第1回）議事概要について

- 1 農林水産省は、独立行政法人緑資源機構が行う特定中山間保全整備事業の新規着工区域採択に当たり、当該新規区域の効率的・効果的な整備手法について精査・点検を実施しています。

平成20年度以降は、他の法人が承継予定

| 事業名 | 都道府県名 | 区域名 | 関係町名 | 主要工事 |
|-------------|-------|--------|-------|--------------------------------------|
| 特定中山間保全整備事業 | 北海道 | 南富良野区域 | 南富良野町 | 水源林造成 区画整理 用排水路整備 林地転換 等 |

- 2 効率的整備手法の精査・点検の実施にあたり、専門的見地からの意見を聴取するため、学識経験者等による「効率的整備手法検討第三者委員会」を設置しています。委員会の構成は次のとおりです。

| 氏名 | 所属 |
|-------|--------------------|
| 梅田 安治 | 農村空間研究所所長 |
| 柿澤 宏昭 | 北海道大学大学院農学研究院教授 |
| 黒河 功 | 北海道大学大学院農学研究院教授 |
| 斉藤 秀生 | (財)自然環境研究センター主席研究員 |
| 酒井 秀夫 | 東京大学大学院農学生命科学科教授 |
| 宮城 道子 | 十文字学園女子大学人間生活学部准教授 |

(五十音順)

3 本年度第1回目の第三者委員会を以下のとおり実施しました。

- (1) 実施日 平成19年8月1日(水)
- (2) 場所 北海道南富良野町
- (3) 出席者
 - ・委員 梅田委員、柿澤委員、斉藤委員、宮城委員
 - ・事務局 農林水産省農村振興局農地整備課長ほか
- (4) 現地調査の概要
水源林造成及び区画整理予定地等の現地調査を行い、地元関係者から地域の現状や課題等について聞き取りを行った後、意見交換を行った。
- (5) 第三者委員会の概要
 - 委員長選出
委員長には、全会一致で梅田委員を選出した。
 - 委員会の運営
第三者委員会の今後の進め方については、今回の委員会での意見・指摘を踏まえ、事務局で資料等の整理を行い、次回の委員会で意見のとりまとめを行うこととした。
 - 主な意見・指摘等
実施の段階から、将来の維持管理を想定した工法を検討し、整備を行っていくことが重要。
事業による効果は、費用対効果で数値化されるものだけでなく、定性的な効果も積極的に示していくことが重要。
公益的機能の維持増進、環境の保全に加えて、循環型地域社会の形成に寄与するためには、事業の実施において、間伐材などの地域資源を利用することが肝要。
鳥獣害防止施設について、有識者や地域住民とともに、先進地区事例の勉強会開催などの取組を行うことが有効。

本委員会の議事録については、後日公表することとしています。